

図-6. 3. 11(5) 最大騒音レベル (LA, Smax) の予測コンター (飛行経路⑤) : 単位 dB

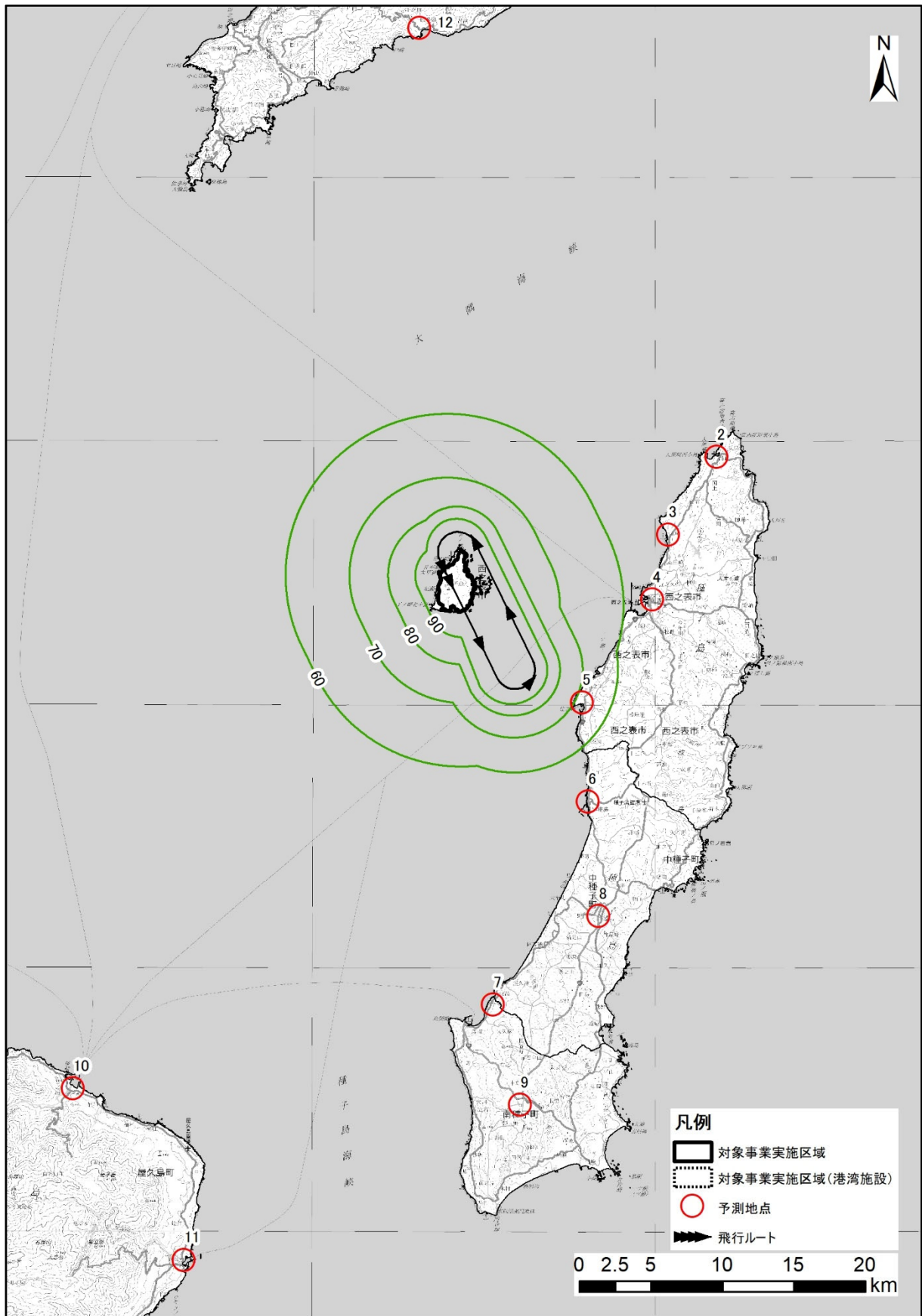


図-6. 3. 11(6) 最大騒音レベル (LA, Smax) の予測コンター (飛行経路⑥：単位 dB)

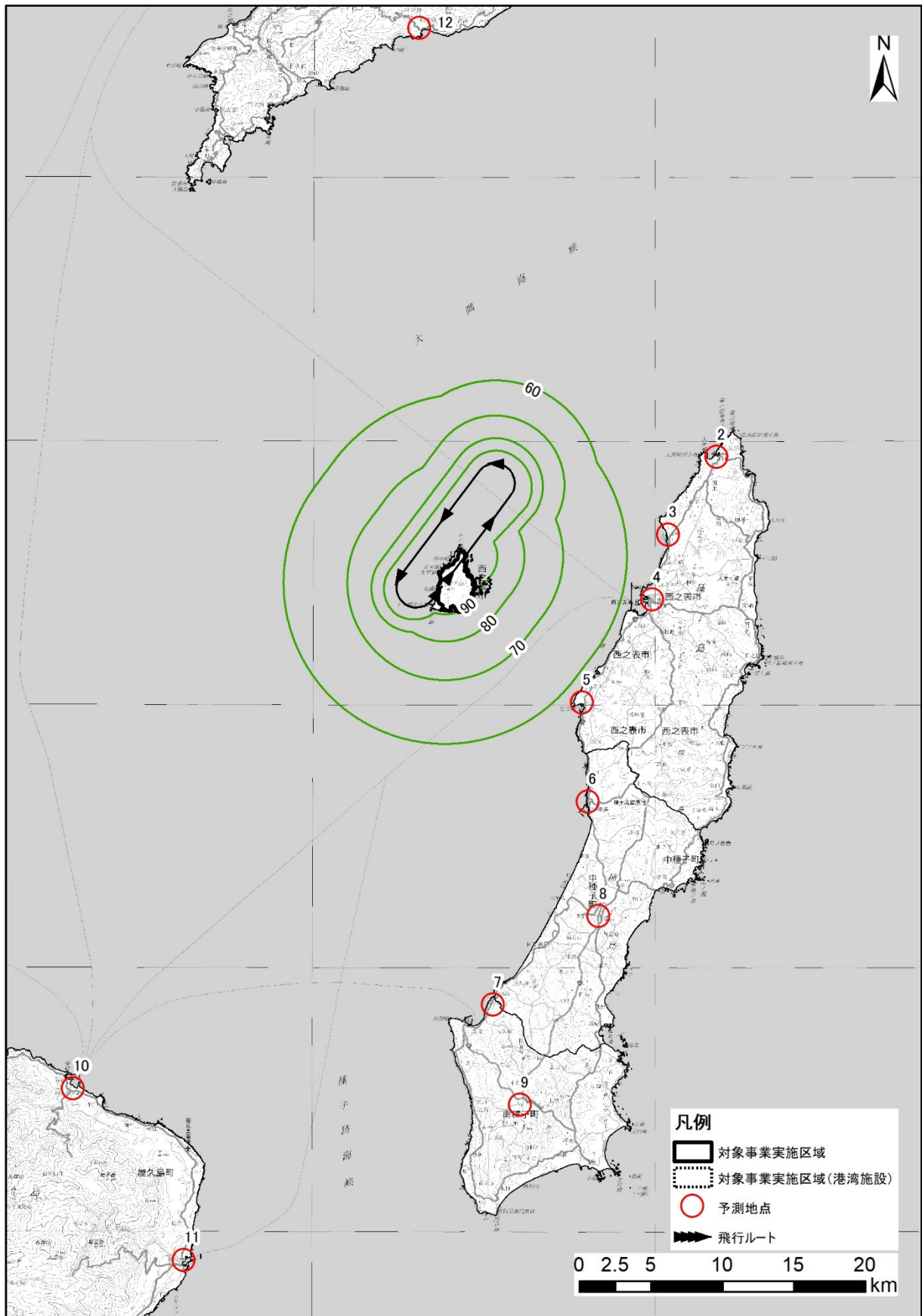


図-6. 3. 11(7) 最大騒音レベル (LA, Smax) の予測コンター (飛行経路⑦) : 単位 dB

2) 騒音が家畜に及ぼす影響

騒音が家畜に及ぼす影響を表-6.3.3 に示します。乳牛は、ジェット機音暴露（120dB 未満）に対して乳量が約 30%減少、別の事例では 100dB 前後で乳量の減少が約 18%であったという報告があげられています。一方、射爆撃音、ジェット機音が 110dB 前後の地区において、受胎率は、騒音の発生がほとんど問題にならない地区と比較しても差は認められていません。

豚は、120～135dB のジェット機音の暴露を受けても成長速度、受胎率ともに影響は認められていません。

鶏は、110～120dB のジェット機音の暴露を受けると、1ヶ月目は産卵率が若干低下するものの、2ヶ月目には回復します。また 65～115dB の暴露を受けても成長（体重増加）に影響は見られません。

表-6.3.3 騒音が家畜に及ぼす影響

対象	暴露音	大きさ	騒音発生状況	影響	備考	
乳牛	ジェット機音	120dB 未満	—	乳量が約 30%減少（北海道恵庭町）	出典 1、2	
	ジェット機音	100dB 前後	集中する時間帯で 1 時間あたり平均約 3 分間隔	乳量の減少約 18%（福岡県板付地区）	出典 3	
	射爆撃音、ジェット機音	110dB 前後	集中する時間帯で 1 時間あたり 1 分間隔以内	受胎率は、騒音の発生がほとんど問題にならない地区と比較しても差は認められない。（福岡県岡垣地区）	出典 3	
	競艇場の発生音	90～110dB	1 日 6 時間程度	乳量が減少	出典 1、2	
	射撃音	不明	—	乳量が約 5%減少	出典 2	
豚	ジェット機音	120～135dB	—	成長速度、受胎率ともに影響認められず	出典 2	
鶏	成長	ジェット機音	—	成長（体重増加）に影響見られず	出典 2	
	産卵	ジェット機音	—	1ヶ月目は若干低下するが2ヶ月目には回復	出典 2	
		パイル打ち込み音	—	—	初期に驚愕するが順応し影響なし	出典 2
		建機稼働音	—	—	突発音に驚愕するが産卵率低下せず	出典 2
		発破、建設工事	—	—	影響なし	出典 2

出典 1：「騒音が家畜の生理生態に及ぼす影響」（小田良助 西日本畜産学会報 22, 1～8（1979））

出典 2：「あんな発破 こんな発破 発破事例集」（平成 14 年 3 月、日本火薬工業会）

出典 3：「調達庁調査時報(通号 36)」（調達庁総務部総務課 編 1962. 12）